

令和4年度の発足にあたって

安曇野市教育委員会 教育長 橋渡 勝也

新体制での心構え

安曇野市教育委員会事務局は、新たな組織体制のもとで、令和4年度のスタートを切ることになりました。今日からは、子どもに関する業務が一元化され、子どもを乳幼児期から切れ目なく育む体制が整いました。このことに対する保護者をはじめ市民の皆さんの期待は大きなものがあります。それにこたえるよう、教育部所属の職員740余名が一つのチームであるという意識を持って、気持ちも新たに何事にも挑戦する気概で取り組んでいただきたいと思います。

目指す子ども像の共有

昨年12月に太田市長と教育委員会との初めての総合教育会議が開催され、この中で、市が目指す子ども像や将来構想について確認されました。本日より、安曇野市立小中学校と認定こども園・幼稚園は、互いの保育や教育の理念や方針*について共有し連携を一層強化して、「未来を拓く“たくましい安曇野の子ども”」の育成に向けて取り組みます。特に、保育・教育の現場で子どもたちと日々向き合っている約千名の学校教職員と保育士の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

保育・教育に携わる公務員として

結びに、職員一人一人が市及び市教育委員会を支えるかけがえのない存在です。健康にくれぐれもご留意の上、仕事に誇りを持って取り組んでください。さらに、社会や市民からの信用・信頼を裏切ることなく、通勤時にハンドルを握ることをはじめとして、常に模範となるよう努めて行動していただくようお願いいたします。